

体育会ゴルフ部でありながら今年 2 月に会社設立を果たした軌跡と未来創造

M28-0397E 松島 圭祐

はじめに

私は今年 2 月に『ゴルフで人々を幸せにする会社』合同会社 GOLKET を立ち上げました。ここまで至るのに沢山の皆様からのご協力、ご支援をいただきました。今回はその感謝を伝えるとともに、私がなぜ専修大学に進学しゴルフ部でありながら起業することができたのかを 4 年間を振り返りながら記していきたいと思います。

目次

はじめに

- 1, ゴルフとの出会いと専修大学への進学
- 2, 専修ビジネスコンテストでの挫折
- 3, 尊敬する師との出会い
- 4, 合同会社 GOLKET 設立と現在の仕事
- 5, 未来を創る新しいゴルフスクールの形
結びにかえて

1, ゴルフとの出会いと専修大学への進学

まず私がゴルフを始めたきっかけは石川遼選手の影響です。ゴルフを始めたのは中学校に上がる直前で、ちょうど「ハニカミ王子」石川遼ブームの時でした。元々は野球をしていましたが、中学受験や強いチームに移籍しようと思い、なにもしていない時期がありました。その時期にテレビで放送していたゴルフに興味を持ちました。父に興味がある事を伝え、物置にあった叔父のゴルフクラブを持って近所の打ちっぱなし練習場に行きました。最初の印象はとにかく難しいでした。なぜ止まっているボールが打てないのか、不思議でなりません。しかし、たまに当たると果てしなくボールは飛んでいきました。球技の中で最も飛ぶスポーツであるゴルフに魅力された瞬間でした。その日を境に、私は野球を辞めゴルフに専念しようと決意しました。父からの教で「何事にもやるからには一番を目指せ」と言われていたので、その日から私の夢は誰よりも強いプロゴルファーになることになりました。

誰よりも強いプロゴルファーになる為に、私は高校選抜を大学ゴルフ部が強くて高校にもゴルフ部があることを条件にしました。それが専修大学との出会いです。中学 3 年生の頃にはすでに専修大学体育会ゴルフ部でプレーするということを決めていました。その為に専修大学附属高等学校に進学しました。勉強にも励んでいましたが、受験をしないということで一番好きなことに時間が使える環境を作ることができました。私学私大への進学を

後押ししてくれた両親にはとても感謝しています。経営学部に進学した理由は、これも中学生の頃からですが、将来はゴルフをベースとしたグループ企業を作りたいという目標があったからです。0から何かを作ってそれを広げていくという作業が好きでした。当時からこんなビジネスをしたいやこんなことが世の中にあればいいなということを常々考えていました。中学生の頃に、現在のベースがかなり作られていたんだと感じました。

2,専修ビジネスコンテストでの挫折

専修大学に進学してからは体育会ゴルフ部に所属しながら経営学を学びました。1年次の冬に専修大学ビジネスコンテストというものがあることを知り、観覧しました。率直な感想を言うと、この程度であればトップになれると思い、来年度の参加を決意しました。2年次に入り、ビジネスコンテストで優勝するため、夏休みには実際の経営者の方や実業家の方にアドバイスを頂けるブラッシュアッププログラムへの参加や様々な人に意見を聞き、自分のプランを練っていきました。相当作り込み、自分の中では結構な自信がありました。しかし、結果は書類選考で落選しました。人の評価が全てではないということは分かっていたが、当時の自分はかなり落ち込み、起業はもちろん、今までの自信は全て無くなりました。そんな中、たまたまご挨拶に行かせて頂いた場所で、そのプランのお話をする面白いし勝算はあると言っていただけました。やる気がなくなっていた自分をもう一度奮い立たせてくれました。その言葉をきっかけにもう一度プランを考え直し、どうすれば自分の想いを伝えることができるかということを考えました。そこでたどり着いたのが実際にやってみるということでした。実際にやることで、机上の空論ではなく現実にも可能でかつ勝算があるということを証明できると思いました。その結果、3年次に再度チャレンジした専修大学ビジネスコンテストでは優秀賞を頂くことができました。伝え方次第で同じものが全く別の結果をもたらすということを学びました。そこからはそのプランを実現するために、様々な方とお会いし、プランに協力していただくことをお願いしていきました。しかし、そのプランを根本から否定する方と出会い、自分の運命はまた大きく変わっていきました。

3,尊敬する師との出会い

優秀賞を頂いたプランは、ゴルフコーチと生徒をつなげるマッチングアプリでした。このサービスはゴルフコーチ選びという閉鎖的でなかなか自分に合った人と出会えないという問題を解決するために考えました。ゴルフというスポーツの良さを知ってもらいたい、もっとゴルフを上達して欲しいという気持ちから生まれたプランでした。そのゴルフコーチを様々な人にお願いしていたのですが、ある時お願いした人から根本的に否定されました。それが現在の私の師である下田信司さんとの出会いでした。下田さんからはアマチュアゴルファーを上手くしたいという心意気はいいけど、その仕組みでは絶対に上手くいかないと言われました。ゴルフコーチ側の質が担保されていないのに、どうして上手くするということを保証できるのかと言われました。下田さんはプロアマ関わらずトップ選手を育成して

おり、独自のメソッドも確立されていたので、コーチとしての質をかなり意識されていました。何も言い返すことができませんでした。自分では教えられないからプラットフォームを作り、他の人に教えてもらおうとしていた自分が恥ずかしくなりました。どこかで早く起業しなくてはと焦っていたのだと思います。そして、下田さんから衝撃の言葉を言われます。「結局、お前は どうしたいんだ？ プロになりたいのか？」

と言われ、自分は少し黙ってから

「プロになりたいです。」

と本音を答えました。すると、

「だったら、なれば いいじゃん。プロになれるよ。」

と言われました。驚きました。プロになれるとここまではっきり断言されたことはなかったからです。そこからはアプリ開発等は考えず、下田メソッドを学びました。すると、自分が今まで悩んでいたことがどんどん解決して、自分のスイングが大幅に変わりました。無理だと思っていたことが、理論を理解することで可能になることが分かりました。短期間でゴルフ脳が明らかに上昇していきました。また、3年次の12月末から私は時間を有効活用するために無料でレッスンを開始しました。情報をアウトプットすることで更に理解を深めるという目的と理論を組み立てていくことで実際に上手くできるということを証明する目的でした。下田メソッドで教えていくと誰でも上手くすることができました。中には感動したとまで言ってくれました。実際に様々な方を上手くすることができ、この理論をさらに広めていくために私は下田さんに弟子入りしてもっと深く学ぶ道を選びました。下田さんからプロになるのはいいが、まずは稼げということを常々言われています。稼ぎがあればいつまでも夢を追える、多くの人が夢でお金を稼ごうとするから諦める時が来る、夢とファインンスを分けて考えることができるかが分かれ道と言われました。ここまでお金についてははっきり言われたのも初めてでした。そのため、私はまずは稼ごうと思い、レッスンスキルを磨くことを選びました。アマチュアの試合が終わる今年の9月いっぱいまで無料レッスンを続け、お客様の獲得と自分のスキルアップに結びつけることができました。さらに、今年の夏にはプロゴルファー第1号となる加藤勇希プロを輩出することができました。

4. 合同会社 GOLKET 設立と現在の仕事

私は今年2月に合同会社 GOLKET を設立しました。GOLKET という名前は、3年次に専修大学ビジネスコンテストで優秀賞を頂いたプランから取りました。GOLKET とは GOLF MARKET を略したもので、新しい市場を作るという意味が込められています。では、なぜ私が2月に会社を立ち上げたのかというと、それは自分が取り扱いたい商材を扱うには法人契約しなかったからです。私も1年半以上利用しているもので、100名以上のプロゴルファーや様々なスポーツのアスリートが利用しているものです。そのため、当初の予定より早い設立でしたが、今ではこのタイミングもよかったと思っています。物販等でしか売上がなかったため、準備の部分に多くの時間をかけることができたからです。設立時の書類

作成や銀行口座の開設や印鑑作成等々学びながら行うことができました。

現在の仕事ですが、メインは下田さん監修のもと 10 月にオープンした『東銀座ゴルフスクール』です。10 月にオープンといっても施設を作った訳ではなく、インドアゴルフ練習場の中にスクールとして入ったという感じです。そのため、経費はほぼかかっていません。ホームページも自作しました。できることは全て自分でやっています。時間がある大学生だったからできたことだと思っています。また、現在はメディアに力を入れています。特に YouTube です。来年以降、5G になり更に動画コンテンツは盛り上がると予測しています。ゴルフ YouTube 界でトップを取るために、日々撮影をしています。編集もまだそんなにお金をかけられないため、後輩にゴルフを教える代わりに編集をやってもらっています。個人的な目標としては、1 ヶ月 30 本の動画を撮影することです。今ある環境を最大限に生かしてやっています。

5,未来を創る新しいゴルフスクールの形

東銀座ゴルフスクールでは、2 ヶ月たった 6 回でスイング作りを終わらせるということをやっています。スイングを作ることは簡単で重要なのはその先の調整力ということを説いています。これだけでも結構新しいのですが、私たちは更に未来型のゴルフスクールを考えています。キーワードとなるのが「サブスクリプション」と「パーソナライズ」です。世の中の流れ的に、いまはサブスクリプションに上手く対応できるかということが重要になってきています。全てのサービスをサブスクリプション化すればいいという訳ではないと思いますが、ゴルフスクールもサブスクリプション化することで価値を高められると考えています。現在検討中なのが、店舗数を増やし、どこでも同じクオリティでレッスンを受けられるようにしようと考えています。実際にいくつか候補も上がっています。ただそれだけではつまらないので、そこにパーソナライズの面を加えます。私たちは調整力を売りにしています。調整力の中には、愛媛大学と大手メーカーが共同開発しているゴルファー向けサプリメントや α 波を出すことで意図的にゾーンに入るアロマや専属トレーナーによるトレーニングなどがあります。それらを組み合わせることでその人の健康もサポートしようと考えています。カルテを共有することで、どの店舗でも誰でもその人に合った調整ができるようになり、健康な状態を記録することができます。このように未来型のゴルフスクールとしていずれは月額課金型パーソナルゴルフスクールを目指しています。多くの人がいつまでも健康で楽しくゴルフができるように私はサポートし続けたいと思います。そして、自分自身も誰よりも強いプロゴルファーを目指し続けます。

結びにかえて

私はここまで来るのにたくさんの人に助けてもらいました。正直苦しい時期もありましたし、途中でやめたくなることもありました。しかし、様々な方の支えで乗り切ることができました。もちろんこれから苦しいことはあると思いますが、必ず乗り切れると思っています。

ます。4年間の大学生活で、一番重要視していた部分が人との出会いです。極力誘われたところには積極的に行って外部の人とたくさん交流してきました。そうすることで、自分の考えや頭をアップデートし続けることができたのだと思います。専修大学に進学して良かったと心から思っています。

最後に私が改めて思うことは、大学4年間の間にやりたいことが見つかったのであれば、それをいつまでも続けられる環境作りに4年間を使うということです。私がここまで来れたのはその環境を作りあげることができたからです。確かにまだまだこれからだと思っていますが、卒業してからもなんとか生活できる見通しを立てることが出来ました。その見通しを立てられるかどうかでいつまでも夢を追えるか決まると思いました。それができないと不安から就活という道を選ばざるを得ないのかなと感じました。決して就活が悪いというわけではなく、やりたいことをやれないという道を選んでしまう可能性があるということです。もしこれを誰かが読むのであれば、そこだけはぜひやってほしいと思います。明るい未来を想像して、そこに向かうために自分が何をすればいいのか、時には誰かに助けってもらいながら、夢を追い続けられる環境を作ってほしいと思います。